

#### 4. 警戒の解除方法

(アラーム音を解除する場合も同様に行ないます。)

[F] キーを押した後、5秒以内に4桁の暗証番号を押します。正しければ確認音が「ピピ」と2回鳴り、警戒が解除されます。もし間違った場合、「ププ」と2回鳴り、これを3回間違うとただちにアラームが鳴り出します。

#### 5. その他の設定および緊急アラームについて

(警戒状態でないときにお好みの設定が可能です)

5-1. アラーム音色変更… [1] と [F] キーを押した後に [1] ~ [3] のキーを押す。

- 警報音 [1] → [F] → [1]
- リング音 [1] → [F] → [2]
- 緊急音 [1] → [F] → [3]

※正しく設定できると、設定した音色が約1.5秒間鳴ります。

※出荷時の設定は警報音です。

※乾電池を抜くと警報音に戻ります。

5-2. 鳴動時間… [2] と [F] キーを押した後に [1] ~ [3] のキーを選択する。

- 10秒間 [2] → [F] → [1]
- 20秒間 [2] → [F] → [2]
- 30秒間 [2] → [F] → [3]

※正しく設定できると、確認音が4回「ピピピピ」と鳴ります。

※出荷時の設定は20秒です。

※乾電池を抜くと20秒に戻ります。

5-3. 緊急ボタン… [F] キーを2秒間押しとただちにアラームが鳴り出します。

※アラーム音を止めるときは「4. 警戒の解除方法」と同様に行なってください。

### 4 仕様

品名	スーパードアアラーム	鳴動時間	10秒・20秒・30秒より選択
品番	SAE-230	ディレイタイム	0秒・8秒・20秒より選択
電源	単4アルカリ乾電池×3	外形寸法	50(W)×100(H)×25(D)mm
消費電流	60mA (鳴動時)	質量	55g (電池含まず)
音圧	約100dB/m	付属品	マグネット部 1個 ブラケット 1個 両面テープ (大・小) 各1枚 タッピングネジ (3×12mm) 2本
音色種類	警報音・リング音・緊急音より選択		

# DELCA TEC

●このたびはデルカテック製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

## 取扱説明書

デルカテックの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

# Super Door Alarm

## スーパードアアラーム (暗証番号式)

## SAE-230

### 《安全上のご注意》

- ご使用前に、この取扱説明書(安全上のご注意)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。



#### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

#### 警告

- 本器は強力なアラーム音(約100dB/m)および操作音が鳴ります。鳴っている間、または鳴る直前に耳を本器に近づけないでください。難聴などの障害が起こる可能性があります。
- 本器は盗難・強盗などの被害を未然に防止するものではありません。万一、被害が発生しましても弊社は責任を一切負いかねますので、予めご了承ください。

#### 注意

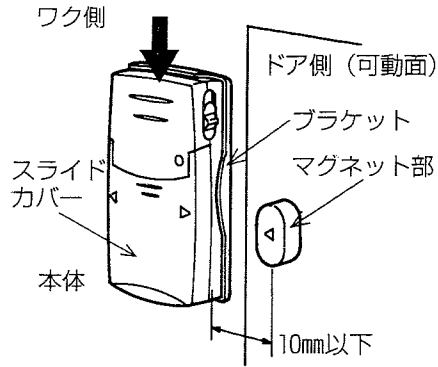
- 本器は屋内専用です。屋外での使用はやめてください。
- 両面テープで本体やマグネット部を取り付ける場合は、落下防止のためドアの枠や壁面の汚れをきれいに拭き取ってから行ってください。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を抜き取ってください。

株式会社 デルカテック

本社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目4番17号  
フリーダイヤル ☎ 0120-411-040

**1****取付方法**

1. マグネット部とブラケットは付属のネジまたは両面テープで屋内側に取り付けてください。
2. 右図のように、スライドカバーを開めたとき、本体の▷印とマグネット部の◁印が合うように取り付けてください。
3. 本体（ブラケット）はドアのワク側に、マグネット部はドア側に取り付けてください。
4. マグネット部は本体の左右どちら側でも取り付け可能ですが、図のように10mm以下になるように取り付けてください。



※本体とマグネット部が10mm以上離れていると正常に動作しない場合があります。また、鉄製のドアやワクの場合、5mm以下にしないと正常に動作しない場合がありますので、十分確認してから取り付けてください。

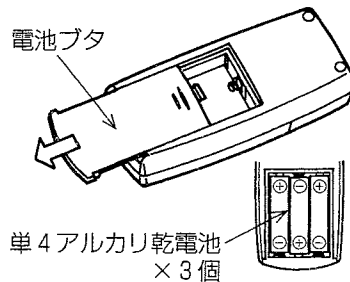
※本体はドア側には取り付けないでください。本体の落下により、けがや故障の原因となります。

※本体をブラケットから取りはずす場合は、上図の ↓ の向きに本体に指を掛けると取りはずしがスムーズです。

**2****電池の入れ方**

はじめに：本器は電池を交換するたびに、毎回暗証番号を設定しなければなりません。

1. 本体をブラケットからはずしてください。
2. 右図のように本体裏の電池プタをスライドさせて電池の⊕⊖を間違わないように3個とも新品の電池を入れてください。
3. 電池を交換する場合はこれまで使用していた暗証番号をリセットするために、**[F]** キーを交換前に1回押してください。**[F]** キーを押すことで記憶されている前回の暗証番号が消えてしまいます。
4. 3個とも電池が正しく入ると赤色ランプが点滅します。
5. 電池交換の時期について……電池の寿命が近づくと警戒状態のときに約20秒に1回短く「ピッ」と音が鳴りますので、新品の電池と交換してください。

**3****使用方法****1. 電池を入れた後に暗証番号を設定します。**

(はじめて電池を入れたときや電池を交換したときだけ行います。)

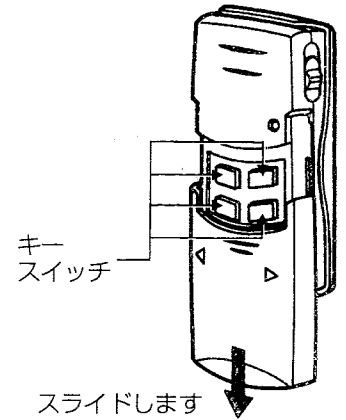
- 1-1. 右図のように本体のスライドカバーをキースイッチが見えるまで下げてください。
- 1-2. **[1]** **[2]** **[3]** の3つのキースイッチをお好みに押すことにより、4桁の暗証番号を設定してください。

例：**[3]** → **[2]** → **[1]** → **[3]** など……

※正しく設定できると確認音が4回「ピピピピ」と鳴ります。

※ **[F]** キーは暗証番号に含めないでください。

※暗証番号は忘れないようにしてください。

**2. 暗証番号の変更方法**

- 2-1. **[F]** キーを押して、その後これまで使用していた4桁の暗証番号を入力します。正しく入力できると確認音が4回「ピピピピ」と鳴ります。間違うと「プブ」と2回鳴ります。(なお、3回間違うとただちにアラームが鳴り出します)

- 2-2. 赤色ランプが点滅している間に新しい4桁の暗証番号を **[1]** **[2]** **[3]** のキースイッチを押して設定してください。

**3. 警戒の設定方法**

- 3-1. **[F]** キーを2回押してください。赤色ランプが5秒間点滅します。この間は警戒しているドアを開閉してもアラームは鳴り出しません。その後、警戒状態にはいると5秒に1回赤色ランプが点滅します。

- 3-2. 本器のスライドカバーを上へ上げて、警戒しているドアを閉めます。(ドアが完全に閉まっていないと警戒できません。必ず確認してください。)

- 3-3. 警戒解除せずに(暗証番号を入力せずに)ドアを開けるとアラームが鳴り出します。

※ドアを開けてからアラームが鳴り出すまでの時間(ディレータイム)は、右上図のように本体側面のスイッチにより0秒、8秒、20秒の中から選択してください。この設定をすることでドアを開けた後アラームが鳴り出す前に暗証番号を入力して警戒解除できます。

※本器はスライドカバーを下に下げるとキースイッチが光りますので、電池の消耗を少なくするために、スライドカバーはキースイッチを押すときだけ下に下げてください。

